

1. 科目名 (単位数)	非営利企業特論 (2 単位)	池袋・名古屋	3. 科目番号	SSMP5361
2. 授業担当教員	【池袋】杉山 章 【名古屋】城田 吉孝			
4. 授業形態	講義を主にしつつ、質問、報告、討論の時間をつくり進めていく。		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし		履修形態 (通信教育)	R
7. 講義概要	非営利企業とは何か、営利企業 (株式会社など) との相違点を明らかにし、非営利企業の事業分野、経営管理、企業統治問題などに接近していく。その過程で営利企業との比較、法規制、海外の非営利企業の状況への理解を深める。			
8. 学習目標	非営利企業への理解を深め、研究上の問題領域、研究テーマの理解を深めるとともに、社会福祉事業の経営管理の担当者として必要な専門知識の習得を目標とする。			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	課題を提供して報告してもらい、レポートを提出する。これは、講義の5回および10回目の時間に実施し、報告内容について質問、討論を行い、コメントを行う。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 田尾雅夫・吉田忠彦『非営利組織論』有斐閣 【参考書】 Effective Non-Profit Management: Context, Concepts, and Competences Shamima Ahmed, CRC Press.2013.他毎回授業で紹介、説明する。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 非営利企業の定義と社会的役割についてまとめ、報告できた。 2. 非営利組織の特異性、ガバナンスについて説明できた。 3. 社会福祉事業の内容について、説明できた。 4. 社会福祉施設における人材マネジメントについて説明できた。 ○評定の方法 日常の授業参加の積極性 20% 中間報告レポート 30% 期末試験 50%			
12. 受講生へのメッセージ	社会福祉事業を営んでいる主体の多くは非営利企業で、これに株式会社が参入して、「社会的企業」という概念が生まれている。社会福祉事業を営んでいる企業の経営管理、企業統治は営利企業に比べて立ち遅れており研究分野としても多くの研究者に参加してほしい分野である。			
13. オフィスアワー	別途お知らせする。			
14. 学習の展開及び内容	【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	非営利企業とは何か (1) 定義と社会的役割を考える			
【学習の目標】	非営利企業の特徴について説明できるようになる。			
【学習の内容】	ボランティア、NPO、NGO の違い			
【キーワード】	NPO、NPO 法人			
【学習の課題】	社会福祉法人の特徴を理解する。			
【参考文献】	教科書第1章 非営利組織とは何か p 1			
【学習する上での留意点】	非営利組織と他の組織の目的、剰余金の違いに注意する。			
2. テーマ	非営利企業とは何か (2) 制度と仕組み、組織形態			
【学習の目標】	非営利組織の存在理由について説明できるようになる。			
【学習の内容】	非営利組織の役割			
【キーワード】	法人の種類			
【学習の課題】	法人の機関、ガバナンスについて理解する。			
【参考文献】	教科書第1章 非営利組織と何か p 1 8			
【学習する上での留意点】	ネットワークと非営利組織の形成に注意する。			
3. テーマ	非営利組織を立ち上げる			
【学習の目標】	非営利組織におけるアントレプレナーの役割について説明できるようになる。			
【学習の内容】	ボランティアリズム、組織の成り立ち、組織への成長			
【キーワード】	アントレプレナー			
【学習の課題】	具体的な成長モデルを考える。			
【参考文献】	教科書第2章 非営利組織を立ち上げる p 3 8			
【学習する上での留意点】	企業家から経営者へのマネジメントの変化について注意する。			
4. テーマ	非営利組織の発展と挫折			
【学習の目標】	アントレプレナーの組織として代継承の重要性について説明することができる。			
【学習の内容】	代継承の重要性、発展途中での挫折			
【キーワード】	ネットワークとしての組織			
【学習の課題】	組織であるために、組織とは何かを考える。			
【参考文献】	教科書第2章 非営利組織を立ち上げる p 4 4			
【学習する上での留意点】	非営利組織が活動を続けることの意味について考え留意する。			
5. テーマ	報告、討論、中間レポート			

【学習の目標】	これまでの授業内容の理解、研究上の関心あるテーマの確認をする。
【学習の内容】	非営利組織とは何か、非営利組織を立ち上げる
【キーワード】	NPO 法人、法人の種類、起業家
【参考文献】	教科書第1章から第2章
【学習する上での留意点】	非営利組織と営利組織の相違点について注意する。
6. テーマ	非営利組織を動かす(1)
【学習の目標】	サービス組織の位置づけと特異性について説明できるようになる。
【学習の内容】	組織としての特異性、ガバナンスとマネジメント
【キーワード】	ガバナンス
【参考文献】	教科書第3章 非営利組織を動かす p 6 4
【学習する上での留意点】	NPO 組織と営利組織のガバナンスの機能について留意する。
7. テーマ	非営利組織を動かす(2)
【学習の目標】	ビジョンとミッションの相違について説明できるようになる。
【学習の内容】	ミッションの確立と変容
【キーワード】	ミッション
【学習の課題】	ミッションの維持
【参考文献】	教科書第3章 ミッションとボードによる管理 p 7 3
【学習する上での留意点】	ミッションとビジョンとの相違について留意させる。
8. テーマ	非営利組織を機能させる(1) マネジメントの独自性
【学習の目標】	非営利組織に適合的な仕組みについて説明できる。
【学習の内容】	管理の構造、マネジメントの工夫、マネジメント・コントロール
【キーワード】	マネジメントの独自性
【学習の課題】	非営利組織と営利組織におけるマネジメントの特徴を明確にすること。
【参考文献】	教科書第4章 管理の基礎 p 8 5
【学習する上での留意点】	営利組織との競合について、明らかにすること。
9. テーマ	非営利組織を機能させる(2) マネジメントコントロール
【学習の目標】	非営利組織のリーダーの役割について説明できる。
【学習の内容】	人的資源管理、非営利組織における会計
【キーワード】	リーダーシップ
【学習の課題】	非営利組織では個人の主観的な世界が重視されることについて理解する。
【参考文献】	教科書第4章 人的資源管理 p 1 0 1
【学習する上での留意点】	「来るものは拒まず、去る者は追わず」であるがいかにかに人的資源を生かすかを考える。
10. テーマ	報告、質問、討論、および最終レポートの説明
【学習の目標】	授業内容への理解度、興味あるテーマへの研究の集中の接近
【学習の内容】	非営利組織を動かす、非営利機能を機能させる
【キーワード】	ガバナンス、ミッション、マネジメントの独自性
【学習の課題】	非営利組織の特異性、非営利組織の管理の構造を理解する。
【参考文献】	教科書第3章及び第4章
【学習する上での留意点】	非営利組織の人材は「去る者は追わず」であるが、人材不足を補うためのマネジメントの必要性を説明できるように注意する。
11. テーマ	非営利組織を活かす(1) 非営利組織の特徴
【学習の目標】	組織の環境認識の変化について説明できるようになる。
【学習の内容】	組織と環境、マネジメントの視点から見た非営利組織の特徴
【キーワード】	環境適応
【学習の課題】	サービスの受け手と支払い手の分離が市場の原理になっていないことを理解させる。
【参考文献】	教科書第5章 非営利組織の特徴 p 1 1 3
【学習する上での留意点】	非営利組織の業績尺度は利益だけでなく、抽象的であるため業績が評価しにくいことに注意する。
12. テーマ	非営利組織を生かす(2) 経営戦略のパターン
【学習の目標】	経営戦略のパターンについて説明できるようになる。
【学習の内容】	事業構造の戦略、競争戦略、協調戦略
【キーワード】	競争戦略
【学習の課題】	非営利組織の資源ソースは多様性のため、組織間の調整により時間と労力が必要とされることが理解される。
【参考文献】	教科書第5章 ネットワーク形成戦略 p 1 3 3
【学習する上での留意点】	非営利組織の行動を規定する、ミッション・政府・組織のベクトルは組織リーダーの理念によって異なることに注意する。
13. テーマ	社会との関係をつくる
【学習の目標】	非営利組織とパートナーシップとの関係について説明できるようになる。
【学習の内容】	行政と非営利組織との関係パターン、企業との関係
【キーワード】	マルチ・セクター・パートナーシップ
【学習の課題】	非営利組織と社会、行政、企業との関係について理解する。
【参考文献】	教科書第6章 パートナーシップの構築 p 1 4 5
【学習する上での留意点】	行政と非営利組織との関係について理解する。

14. テーマ	組織として維持する
【学習の目標】	非営利組織の資金調達と評価システムについて説明できるようになる。
【学習の内容】	財源の確保、評価法、評価のフィードバック
【キーワード】	財源の多様性、評価システム、
【学習の課題】	経営資源の調達と組織を維持するための評価、ソノフィードバックについて考える。
【参考文献】	教科書第7章 評価法 p 167
【学習する上での留意点】	財源確保の手段としてのイベント、評価の問題について目的、手法について異なるので評価ポイントの基準について注意深く検討する。
15. テーマ	非営利組織の今後を考える：講義全体の総括、質問、レポート提出
【学習の目標】	マネジメントの重視について説明できるようになる。
【学習の内容】	マネジメントの必要性、組織の変革
【キーワード】	ボランティアの限界 変革の視点
【学習の課題】	非営利組織は価値意識の相違、管理システムをどのように重視するか、無定量無際限のサービス要請、支援システムの不在が組織化でストレスを経験するので、それを防ぐため共通のシステムを考える。
【参考文献】	教科書第8章 非営利組織の今後を考える p 199
【学習する上での留意点】	ボランティアの組織化や価値意識を認め合うための方法を検討する。